

# ほほえみづくり事業助成制度の紹介

安平町では、「くらしの笑顔が広がるめくもりと活力と躍動のマチづくり」を実現するため、団体やグループなどが行う事業や活動を支援する「安平町ほほえみづくり事業助成制度」を行っています。

今年度、この助成制度を活用した3団体の事業内容をご紹介します。

## 追分いぶき太鼓保存会

### 地域文化の創造事業～地域の子供たちの育成

追分いぶき太鼓保存会は、追分町開基100周年を機に平成4年に発足され、安平町内の小中高生を中心に構成された和太鼓演奏団体です。

町内外のお祭りやイベントへの参加をはじめ、福祉施設への慰問などのボランティア活動にも力を注ぐなど、地域文化の創造・地域の子供たちの育成・伝統芸能の伝承・維持に尽力されています。

追分いぶき太鼓保存会では、長年使用している和太鼓の損傷が激しい状態となっており、活動に支障をきたしていたことから、このほほえみづくり事業助成制度を活用し、傷みが特に進んでいる長胴太鼓(2台)・附締太鼓(1台)の革の張り替えを行いました。

革の張り替えによりリニューアルされた太鼓は、町内の「かしわまつり」「メロンまつり」をはじめ、今年は札幌・苫小牧等の町外イベントに参加するなど、多くの場で活躍しました。



## 安平第1自治会

### 安平駅前広場環境美化活動事業

この美化活動事業では、安平駅前に400㎡以上の面積の花壇を造成し花を植えることで、安平駅前が明るく彩られました。

事業としては、花壇の造成作業からはじまり、耕作・植栽作業など、地域住民同士での共同作業によりコミュニティの活性化や地域の連帯感が一層増すとともに、環境整備・環境美化の充実が図られ、花で明るく出迎えることができる駅前づくりを目指しました。

植栽当日は、自宅から花を持ち寄ったり、スズランを植えるなどしながら、造成した大きな花壇を花いっぱいにすることができました。

今後は、花壇が憩いの場となるような花壇づくりをしていくことが目標だそうです。

